

★ 主任児童委員活動報告

～地域のつながりを大切に～

私たち西区の主任児童委員は、現在6地区12名です。主任児童委員の主な活動は

- ・小・中学校の学校運営協議会への参加
- ・専任会での情報共有、および意見交換
- ・子育てサークルの運営
- ・赤ちゃん訪問・赤ちゃん教室への協力
- ・中学校「いのちの教室」への協力 など、

特に子どもたちに関わる様々な内容となっています。その中でも、私たちが特に目標としていることは「子育ての悩みに寄り添い、関係機関の方々へつないでいくこと」です。そのため、ちょっとした育児の悩みでも相談できるように、関わりやすい環境作りを心掛けています。

具体的な活動記録を内容別に記載しましたので、ぜひご覧ください。



①主任児童委員12名、各地区2名で構成されています。毎月の児童支援・生徒指導専任教諭協議会では、担当地域の専任の先生や教育委員会事務局・区役所・警察署・県警保護センター・児童相談所・支援学校などの皆様と幅広く情報を共有しています。子どもたちが更に暮らしやすい地域づくりに役立っています。



②区民祭りに参加しています。手作りカレーや飲み物の販売など、多くの方に好評でした。ぜひ次回もご期待ください。

③「いのちの教室」のお手伝いをしています。中学校に向いて、区役所の方々や助産師さんと赤ちゃんの誕生のお話など、いのちの大切さをお伝えしています。特に妊婦さんジャケットを装着しての体験には、その重さに驚く生徒も。



この他にも未就園児対象の子育てサロンで、「子どもの発達が不安です」「夜、中々眠ってくれません」といった新米ママさんのお悩みの相談や、「生徒の学校生活における悩み、不安など」や「地域からの悩みごと」を聴いて、関係各所へ繋げていくなどの役割を担っています。私たちはこれからも、主任児童委員同士のつながりを大切に、それぞれの担当地区での活動を中心に頑張っていきたいと思っています。「子どもとその家族が地域の中で安心して暮らしていけるように」今後も関係機関の皆さんと一緒に、地域のつながりを大切に活動してまいります。

★ 行事報告

期 間	場 所	内 容
4月21日	健康福祉総合センター	全員協議会 全員研修会「高齢・障害支援課から皆様へ～民生委員・児童委員の皆様がのびやかに活動できるために～」、「あんしんカードについて」
5月8日～5月12日	西区役所	民生委員・児童委員 活動紹介パネル展
8月1日	西公会堂	全員研修会「地域の消費者被害未然防止出前講座」
11月5日	戸部公園	西区民まつり
11月30日	西公会堂	全員研修会「みんながつながり、だれもが共に生きやすいまちづくり地域に「だいじょうぶ」のタネをまこう」

編集後記

第27号をお届けします。今年度より編集委員の方々が大きく代わられました。前任の方々の編集委員活動は、コロナ禍に見舞われた中で、思うような編集活動ができなかったことと思います。その中でも、広報紙「水仙」が休刊することもなく発行されたことは、大きな称賛に値することではないでしょうか。

ご苦労様でした。また、新任の編集委員の皆様、今年度より「編集委員会」は「広報委員会」と生まれ変わります。これからは、民生児童委員協議会の行った様々な活動を幅広く皆さんと一緒に紹介していくこととなります。よろしくお願ひ致します。期待しております。

【広報委員】

- 第一地区 神戸 英男 (編集責任者)
- 第二地区 梅澤 京子
- 第三地区 伊賀 志津子
- 第四地区 丸尾 みどり
- 第五地区 森田 明美
- 第六地区 梅津 みづき
- 主任児童委員 清水 玲子

【退任広報委員】

- 第四地区 立川 知行
- 第五地区 月森 真理子
- 第六地区 小柴 雅子
- 主任児童委員 佐藤 佐奈恵



令和6年3月30日発行 ●西区民生委員児童委員協議会
事務局 〒220-0051 西区中央1-5-10 西区福祉保健センター内 電話 320-8436 FAX 324-3703

第27号

西区民生委員児童委員の皆様へ

西区長 菊地 健次



日頃より、西区民生委員児童委員の皆さまにおかれましては、区政の推進に深い御理解と多大なる御協力をいただき、ありがとうございます。

民生委員・主任児童委員の皆さまにおかれましては、御自身もお仕事や子育て、介護等それぞれの御事情がある中で、地域の皆さまの「身近な相談相手」として、また相談機関との「つなぎ役」として、御尽力いただき、心より感謝申し上げます。



令和6年は、西区制80周年を迎えます。区民の皆さまの地域への愛着を深め、更なる地域のつながり強化・にぎわいの創出につなげていけるよう、皆さまと御一緒に、西区全体で80周年記念の取組を展開してまいります。

また、西区が推進する「安心・安全で誰もがにこやかにあわせにらせるまち」の実現に向けて、引き続き、御支援、御協力をお願いいたします。

最後に、西区民生委員児童委員協議会のますますの御発展と、委員の皆さまの御健康と御活躍をお祈りし、御挨拶とさせていただきます。

コロナ禍を乗り越え、これから

西区民生委員児童委員協議会会長 武田 容子



令和5年の5月に、コロナが5類に移行されました。コロナ禍の中で、なかなか活動が出来なかった鬱憤が一気に晴れたような気がします。その間、地域での見守り活動は、

絶えることなく工夫と創意を駆使して、継続して頂きました事に感謝申し上げます。自分の地域内の方の事を思い、地域を良くしていこうという熱い思いが、伝わって参りました。

市民児協から2年続けてのコロナ対策助成金で空気清浄機を2台購入出来ました。コロナ禍の中でも会議が開催出来ましたね。

今年は区制80周年の年でもあり、様々なイベントが繰り広げられると思います。子育て支援、高齢者の見守り支援、青少年の居場所支援、障害児者のサポート支援等々、民生委員を取り巻く活動は様々ですが、まずは自身の地区を知ることが一番大事だと思います。自身の地区をくまなく見回してみてください。民生委員の皆様、令和6年度「朗らかに、元気に、明るく」毎日を過ごして活動して参りましょう！



横浜版民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンシー」

目 次

区長・会長 挨拶	1	主任児童委員活動報告	4
全員研修会報告	2	行事報告	4
地区別研修会報告	3		

本誌では、文章内で所属地区名と地区数の誤読を防ぐため、地区名は漢数字で、地区数は洋数字で表記しています。

★ 令和五年度 全員研修会報告

「サギにあわないための研修」

スマートフォンによるサギ。訪問や電話ではなくインターネット上のサギの被害が報道されていることがある。顔や声は悪か正体さえも分からないサギが我々一般の市民を脅かしている。

興味がある画像や文面に誘導されて自らの指でタッチし次へ次へと進んでしまった。それが仇となり思わぬ契約が成り立ったかのような、しかも多額の支払い請求までが画面に現れる。慌てて「連絡して今の契約を破棄しよう」と画面に出ている連絡先に電話してしまう。それこそが間違い。自分の連絡先を明かしてしまうことこそが間違いの第一歩なのだ。慌てず、一人で抱え込まない。そして消費者ホットラインに相談できることを知っていただきたい。

電話番号 188 (いやや)。スマホは、我々の味方にもなってもらえて本当に便利な道具なのだと思う。

参加して良かった「サギにあわないための講座」でした。(梅澤 京子)



「困った時に思い浮かぶ顔」

令和五年度「にこまち講座」が11月30日(木)に西公会堂で開催されました。講師に「NPO 法人フリースペースたまりば」理事の鈴木晶子氏をお迎えして「地域に『だいじょうぶ』のタネをまく」というテーマで、その活動をご紹介いただきました。

孤立しがちな子どもさんやその御家族、または中高年世代の人々を、地域の中にとり込んでゆく、孤立させないための「だいじょうぶ」の工夫が随所に見られました。

たとえ細くて薄いつながりでも「困った時に思い浮かぶ顔」になりたいと、鈴木さんはおっしゃいました。

私たち民生委員児童委員も「困った時に思い浮かぶ顔」になるために、「ご用聞き」としての訪問活動を地道に続けてゆきたいと思いました。

(伊賀 志津子)



令和五年度 表彰受賞者のご紹介

■ 令和5年度 神奈川県県民功労者表彰

神戸 英男 様 (第一地区)

■ 令和5年度 西区社会福祉功労者表彰

佐藤 佐奈恵 様 (第一地区)

本戸 信也 様 (第二地区)

村上 英子 様 (第五地区)

■ 令和5年度 横浜市社会福祉・保健医療功労者 市長表彰

15年表彰

伊賀 志津子 様 (第三地区)

月森 真理子 様 (第五地区)

中村 淑子 様 (第五地区)

平野 周二 様 (第五地区)

10年表彰

榊原 泰子 様 (第一地区)

佐藤 佐奈恵 様 (第一地区)

本戸 信也 様 (第二地区)

田中 春江 様 (第三地区)

加藤 千穂子 様 (第三地区)

深井 春美 様 (第三地区)

島崎 さとみ 様 (第三地区)

市川 妙子 様 (第三地区)

武藤 道子 様 (第三地区)

天野 みどり 様 (第三地区)

小林 美晴 様 (第五地区)

村上 英子 様 (第五地区)

米田 英治 様 (第五地区)

山 悦子 様 (第五地区)

澄田 和子 様 (第五地区)

荒井 誠 様 (第六地区)

秋末 悦子 様 (第六地区)

岡村 久子 様 (第六地区)

土屋 國造 様 (第六地区)

伊藤 美紀 様 (第六地区)

★ 令和五年度 地区別研修会報告

【一・三・五地区合同研修報告】

障害児入所施設「不二学園」を訪問して

コロナ禍で暫く実施されていなかった研修が2月8日(木)に実施されました。

研修先のメインは障害児入所施設「不二学園」と「水郷 佐原」、参加人数40名で視察してまいりました。

「不二学園」では、2グループに分かれて各棟を見学し、質疑応答を交えながら、職員の方々から色々なお話を伺うことが出来ました。

主に知的障害児を受け入れており、安心安全な環境で児童の独立と自立に必要な知識、技能の習得支援に努められているそうです。

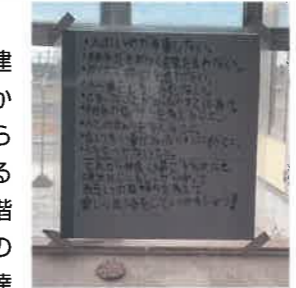
落ち着いた雰囲気のある2階建施設は男子棟と女子棟に分かれ、室内は両棟共に1階から2階の吹き抜け、とても明るく開放感のある造りで、2階は自立できている子供たちの幾つもの部屋、壁には自分達で決めたルールの貼紙がありました。また、自分の希望する場所に職員の方と外出する日程表も貼られており、社会交流の経験ができるなど、思いやりのある工夫がされておりました。

この施設に入所している子供たちはほとんどが措置入所ですが、未就学児から長く入所している子供もいると聞いたときは、胸が熱くなりました。

民生委員になり初めての合同視察研修、実際に訪問して職員の方たちから生の話を聞くなど貴重な経験で大変勉強になりました。これからも子供たちの育成や支援を継続していきたい、地域とも関わりを持ちながら更に良い環境の構築を目指されるのだろうと感じつつ、この研修がすこしでも糧になれば良いと思っています。

昼前に不二学園を出発し、「水郷 佐原」に向かいました。佐原は小江戸、水郷の街と呼ばれ、川沿いを中心に江戸情緒あふれる古い町並みが残っており、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されているそうで、自然に囲まれた閑静な佇まいの中、素敵なレストランでランチをいただき、その後散策もしました。

スケジュールの都合上あまり散策はできませんでしたが、お天気にも恵まれ、何事もなく研修を終えることができて充実の1日でした。(森田 明美)



【二地区研修報告】

「障害者レク・日本丸、水陸両用バス」

12月上旬、曇り空の横浜港、風はなく波が穏やかで遊覧に適した天気の日でした。

付き添い有りの企画は水陸両用バスに乗り込む時や日本丸見学の際も安心して参加して頂いたのかと思います。特に日本丸船内見学は体力を必要とする事が多々あり、それでも一人ではない、と言う思いがあって頑張れたと感じました。遠方への企画も良いけれど、往復に要する時間が短くて自宅から近い、気軽に楽しめたように思います。観光地となった地元の名所を訪ねる良い企画でした。(梅澤 京子)

【四地区研修報告】

「母子生活支援施設を訪問して」

令和6年3月25日(月)母子生活支援施設を訪問しました。

母子生活支援施設とは、児童福祉法38条に定められた児童福祉施設で、妊娠中の女性を含め、0歳から18歳までのお子さんを育てている母子家庭、又はさまざまな事情で離婚の続きができないなどお困りのお母さんとお子さんと一緒に暮らすことができるプライバシーの守られた2Kの間取りの施設です。DV等から逃れるためのシェルターの要素もあるため非公開の情報もあります。



【六地区研修報告】

「横浜市会議場見学」

第六地区研修は、3月28日(木)横浜市会へ民生委員児童委員の19名で参加しました。横浜市民376万人から86人の議員が選出されており、人口規模のわりには少ないことを知りました。

本会議場は、各座席配置や白い天井など旧本会議場の雰囲気を残しつつ、床には「海、波」をイメージした青色のカーペットを採用し、「横浜らしさ」を表現していました。天井は船底を模した形状とし、壁の一部には吸音性をもたせ、「波」をイメージした形状としています。また、採決結果等を表示、記録できる会議システムにボタン採決なんだと驚きました。

5階の大会議室は、予算決算についての会議があるそうで傍聴席に座り、実際に議員達が紛糾する場面もあると聞き、見てみたいという方も多くいました。まだ新しい匂いがする横浜市役所へ訪れて、開かれた議会を感じる事が出来て良かったです。(梅津みづき)

